

国大蒼翠寮の思い出—遠く遥かな青春の時代

出席者 山下正雄（昭和35年卒）
小野正美（昭和32年卒）
岡崎洋一（昭和32年卒）
司会 黒川鈴谷（昭和35年卒）



(写真は左から、山下・小野・岡崎の各氏)

司会 本日はお忙しいところをお集まり頂きまして、有難うございます。今日は国大時代の蒼翠寮のことを、実際にそこで生活された方にお伺いしたいと思います。岡崎さんは寮にはおられなかったとのことですが、蒼翠寮以外の当時の国大の様子についても、いろいろとお話いただければと思います。先日、友松会のホームページの「資料室」

で「友松の変遷」という欄を見ていましたら恩師桜井先生が書かれた「舎監の思い出」という文章を見つけました。桜井先生は師範時代に寄宿舎の舎監をしておられたようですね。その文中に「起床ラップが鳴り響くと、海鳴りのようなどよめきが始まり・・・」とありました。師範時代には軍隊式に起床ラップが鳴ったんですね。国大時代の蒼翠寮では、まさかラップは鳴らなかったでしょうね。

山下 もちろん鳴りません。

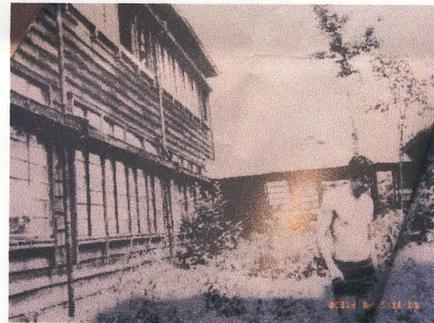
司会 起床とか就寝の時刻とかは、決まっていたのですか。

小野 何時に一齐に起きるとか、何時に寝るとかそういう時刻の決まりは一切ありませんでした。

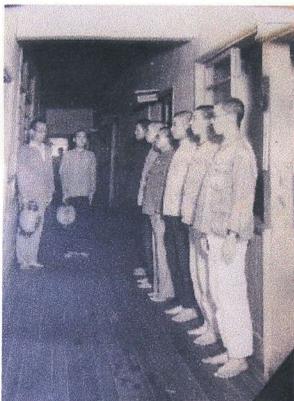
司会 では寝たい時に寝て、起きたい時に起きるというわけですか。師範時代に寄宿舎生活を送った人から見ると、なんと羨ましいと言うか、なんとだらしがないと言うか、どっちでしょうね。で、ラップはなかったとしても、太鼓などで何か知らせるということも無かったのですか。

小野 いや太鼓は使いましたよ。食事の始まりの合図に鳴らすのです。

司会 なるほど、食事はめいめい勝手な時間に来られては困りますからね。



国大時代の蒼翠寮



師範時代の寄宿舎の夜の点呼

山下 太鼓を鳴らすのは食事の始まりだけで、終わりの合図の太鼓というのはありませんでした。

司会 食事といえば、師範の時代には給費制度だったので食費は一切要らなかったと聞きましたが、国大になってからはどうだったのですか。

山下 もちろん給費はありませんから、食費を払いました。食費は朝食・昼食とも一食20円で、夕食は25円でした。毎週1回、各寮生に翌週1週のうちのいつ寮の食堂で食事をするかを寮の会計委員会が調べて、その食事予約と食費を集

めて炊事委員会に提出し、炊事委員会から栄養士さんに連絡しました。

司 会 いやあ、いくら当時でも1食20円や25円というのは安いですね。しかしあの頃は教師の初任給が9,500円くらい、2~3年後の私たちの時代でも10,500円でしたからね。

山 下 寮の食堂で食事をする以外に、外から出前をとることも出来ました。たしか三の鳥居の脇に食堂があって、そこから5天とか6天とかを出前でとりました。5天というのは50円の天井、6天というのは60円の天井です。

司 会 5天とか6天とかいう名前は聞いたことがあります。ところで、寮生は全部で何人くらいいたのですか。

山 下 人数は約200~250人です。1室には4~6人くらい入っていました。もちろん年度によって人数は変わりますが、およその人数はだいたいその位です。そのうち、女子は20~30人でした。また学芸学部の学生だけでなく、経済や工学部の学生も入寮していました。それから寮費(居住費)は年額1,200円を前期と後期に分けて各自で大学に納付しました。

岡 崎 部屋の広さはどのくらいあったのですか。

山 下 12畳の畳の部屋と、それと同じくらいの広さの板敷きの部屋とがセットになっていて、かなり広がったです。

小 野 でも、その広い部屋にちゃんと寝ないで、わざわざ押入れの中に布団を敷いて寝ていました。もっともこれは上級生になってからやった事だったかも知れない。

司 会 そりゃあそうですね。新入生がいきなり押入れで寝たら上級生に叱られますよ。まるで寝台車のようですね。ところで先ほどから会計委員会とか炊事委員会とかいう名前が出てきますが、これは寮の自治組織ですか。その他にどんな自治組織がありましたか。

山 下 寮長・副寮長を含む執行委員会組織があって、入寮選考などをしました。執行委員会の下部組織として、庶務・会計・炊事・厚生・体育・アルバイト対策・警備などの各委員会があり、それらの委員会に所属した場合には、委員は同じ部屋と一緒に住んで生活しました。ただ会計委員会には女子の委員がおり、その人達は会議の時だけ委員会の部屋に来ました。

寮長と副寮長は階段を上がってすぐ左の10人くらい集まれる会議室のような部屋にいました。寮長室の隣が庶務の部屋で、そのまた隣が会計の部屋だったかな。

小 野 庶務では、家から送ってくる為替を受け取ってその学生に渡すなどの仕事もしました。アルバイト対策委員会では、学生にアルバイトの斡旋をしましたが松竹大船撮影所の地元なので、エキストラの仕事もあったね。

司 会 その寮長・副寮長とかいろいろな委員は、選挙で選んだのですか。それとも推薦ですか。

小 野 推薦でしたかね。



窓辺に依る師範時代の寮生



窓辺に依る国大時代の寮生

山下 いや、選挙じゃなかったかな。でも私は副寮長になったとき立候補はしなかったから推薦かな。

司会 実質的には推薦でも、形の上では立候補というのがありますね。

小野 選挙管理委員会の主催で、講堂で選挙の演説会をやったことがある。だから選挙だね。

司会 寮長・副寮長や他の委員の任期は1年ですか。

小野 寮長・副寮長の任期は1年だったと思います。他の委員の任期は半年です。

「昭和27年の学芸学部の校舎配置図」「昭和10年当時の神奈川県師範学校の航空写真」を配る。

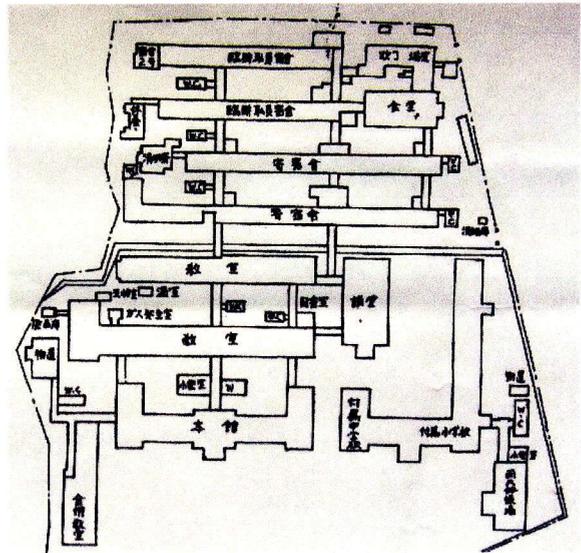
司会 お手元にお配りしたし写真と校舎配置図をご覧ください。この写真(4ページ掲載写真参照)と校舎配置図は基本的にはほとんど変わっていません。図の上の部分に「寄宿舍」とか「臨時職員宿舎」とある部分が蒼翠寮ですか。

山下 教室の部分から一段上がった所にある4棟の建物がそうですね。校舎よりの1棟目には研究室と男子寮が混在し、2~3棟目は1階が男子寮で2階が職員寮、4棟目は教官・事務官の家族と女子寮でした。

司会 図と写真を見比べてみると、清明寮や休養室が写真にはありませんね。この清明寮とはどんな施設ですか。

小野 普通の部屋です。

山下 いや、柔道場でしょう。



学芸学部校舎配置図(昭和27年)



小野 あ、そうだね。でも年度の初めに入寮する新しい寮生の部屋が決まるまでは、皆一緒に一時清明寮に入ってもらいました。それから、この図で「食堂」と書いてある場所は私たちの頃は体育館として使っていました。ここには卓球台が置いてあり、私は体育委員で気を付けて見回っていたのを覚えています。

司会 ここが食堂でないとなると、寮生はどこで食事したのですか。

小野 食事を作るのは、この図の「炊事」と書いてある場所でした。その右の「浴室」はもう無くなっていて寮生は銭湯に行きました。だから浴室とある場所には炊事委員会が入っていました。寮生が食事をした場所は、この図で「浴室」と書いてある場所と「食堂」と書いてある場所とを繋ぐ部分だったと思います。

岡崎 私は体育関係のサークルにいたのですが、あの頃の部室があつた場所はこの図の何処でしょう。

司会 この図で「合併教室」と書いてあるのは、私たちの頃は図書館でしたね。本館から物置に

通じる渡り廊下のあたりに、サークルの部室が幾つかあったように思うのですが。

岡崎 私はバトミンでしたが、この辺りに部室がありました。

山下 寮の2階にも部室があったのじゃないかな。

小野 図で食堂と書いてある体育館では年に1回か2回、寮生のダンスパーティをやりました。そのときには普段よりも明るい電球を買いにいて、会場を明るくしました。

司会 ソーシャルダンスではなく、フォークダンスパーティですね。

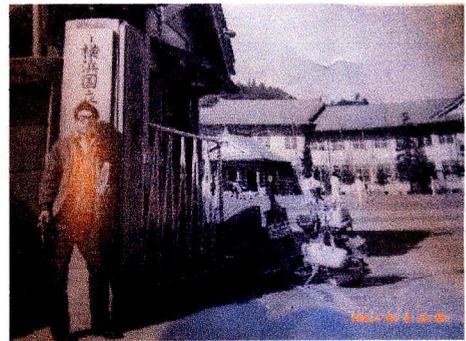
小野 そうですフォークダンスです。ソーシャルダンスをやりたいけれど、誰も知りませんでしたからね。

山下 ダンスパーティでは男女ほぼ同数でないといけないのですが、女子寮生は少ないので、京浜女子大の寮生に頼んで来てもらいました。頼むところよく来てくれましたよ。

司会 私は国大の時に民謡研究会(民研)という混声合唱のサークルにいましたが、国大の学生だけでは女性パートの人数が足りず、保土ヶ谷にあった県立栄養短大の女子学生に頼んで入ってもらいました。

小野 栄養短大の学生は、寮の調理場にも実習に来ていましたよ。人数は10人くらいでしたけれど。そうして知りあった女子学生と結婚した寮生もいます。

司会 いや民研にも、そういうカップルは何組もいますよ。当時は若い男女が知り合う機会は今ほど多くありませんでしたからね。



国大鎌倉時代の正門

山下 男女のふれ合いということだと、寮の中でもやりましたね。今月は男子の何室と女子の何室とで合同ハイキングに行こうと話合って、米を買ってきて女子学生におにぎりを作ってもらい、菓子などを買ってきて布張山など近くの山に行きました。

司会 懐かしき青春の思い出ですね。ところで寮に門限などは無かったですか。

小野 寮としての門限は、別にありませんでした。大学の正門には守衛の詰所があったので、夜あまり遅いと咎められたかもしれません。ただ当時の私たちは遊びまわるお金も無かったので、守衛に咎められるほど遅くなったことはありませんでした。

山下 正門と離れた外柵のところに「けもの道」のような抜け道があって、守衛の前を通ると都合が悪い時などは、その抜け道を通りました。例えば寮祭のときに部屋に展示する「珍品」などを持っているときです。

司会 「珍品」とは、いったい何ですか。

小野 つまり店などでは売っていない珍しいもので、例えば市内在住の著名な作家の表札などを黙ってちょっと拝借してくるのです。

司会 まあ当時は、学生の悪戯には寛容な風潮があったから、許されたことなのでしょうね。

小野 在学中の4年間を思い出してみると、初めの頃と比べて最後の頃には服装などずいぶん乱れてきたように思いますよ。

司会 具体的にいうと、どういうことですか。

小野 入学した当初は、誰もみな金ボタンのきちんとした学生服を着ていました。しかし次第に学校生活に慣れてくるに従い、そうした服装が崩れてきて、例えば教室に下駄履きで来るものも現れました。寮の委員会から「下駄履きで登校するのは止めるように」と度々通達

を出しましたが、なかなか改まりませんでした。服装もラフな服装で教室に来るものも出てきました。もっともこれは理由の無いことではないのです。というのは寮生にとって寮は我が家ですから、教室から戻れば学生服など脱いで我が家らしい寛いだ服装になります。研究室に行くときにも、先生に会うとか講義のときにはさすがにきちんとした服装で行きますが、そうでないちょっとした用事の時には、服装を改めずに行ってしまう。そういうことからだんだんと服装の乱れが始まったと思います。

山下 なにしろ寮から教室まで、歩いて2~3分だったからね。

岡崎 教室のすぐそばで暮らしているというのは、我々のように自宅から電車で通学している者には羨ましかったね。

司会 蒼翠寮のことをだいぶ伺いましたので、寮以外の当時の鎌倉のことも伺いましょうか。その頃の鎌倉に、国大の学生が余暇に遊ぶような場所があったのですか。例えばマージャン屋とか飲みやとか。私は非常に「真面目」な学生だったので、そういう場所をあまり知らないのですが。

岡崎 いわゆるジャン荘ではないんですが、普通の家の二階にジャン卓を置いてマージャンをやらせてくれる家がありましたよ。私は時々行きました。

司会 その家は、どの辺にあったのですか。

岡崎 小町通と段かつらの通りとの間にありました。

司会 喫茶店のイワタなんか、学生さんは盛んに利用したでしょう。

岡崎 あそこは今でも観光客がよく入りますね。

小野 私が知っている喫茶店は、鎌倉駅の裏口を御成小のほうに少し行った所にある「野ばら」という店です。ここにはよく行って、卒論もこの店で書きました。あまり注文もしないのに、何時間も居させてくれました。きっと学生だから大目に見てくれたんでしょう。

司会 当時の学生さんは、コーヒー1杯で何時間も粘っていましたからね。もっともコーヒー1杯50円と言う値段は、あまり安いものではなかったですね。なにしろラーメンが40円くらいでしたから。

山下 鎌倉駅前に飲み屋横丁がありました。その中の店に、銭湯の帰りなどに行きましたよ。どういふ訳か浴衣を着て雨のときなどは長靴を穿いてね。

司会 浴衣にゴム長ですか。すごい格好ですね。でも何となくあの時代の雰囲気分かる感じもしますね。さて、本日はいろいろなお話を聞かせて頂きましたが、時間もだいぶ長くなりましたのでこの辺で幕を閉じさせていただきます。ありがとうございました。



編集後記

前号の「編集後記」をご覧になった方から、幾つものお電話やおたよりを頂きました。誠にありがたいことだと思っております。今後ご批判やご意見など多数お寄せ下さい。

今号では、1期生4人の方とそれより少し後の5~8期生3人の方の、二つの座談会を載せました。いずれも興味深く懐かしい時代が語られています。今後の支部だよりでは18年師範卒業の織茂領先生のご経験や、鎌倉から清水ヶ丘へ、清水ヶ丘から常盤台へという激動の時代を取り上げます。